



市から

環境対応車体験走行会のモニターを募集

市では、国土交通省の「環境対応車を活用したまちづくりに関する実証実験事業」の一環として、環境対応車の体験走行会を開催します。参加無料。事前申込不要。

- 日時 2月24日(木) 同25日(金) 午前9時〜午後3時
\*雨天時は中止
\*集合場所 道の駅むなかた
●実施内容
①安全講習会
②路上コースの体験走行(1人1ルート走行で約10分)
③体験者アンケート(体験者以外も受付)
●検証内容
▽走行中の道路空間での問題点
▽走行中の超小型モビリティ(移動車両)がほかの交通へ与える影響

- ▽環境対応車や二酸化炭素排出抑制への理解
▽超小型モビリティ利用による暮らしの変化などに対する期待
▽近距離移動での超小型モビリティ利用の有効性など
●参加資格 第一種普通自動車免許持参者
●使用車両 株式会社テムザック社製「RODEM(ロードム)」
\*両日とも先着50人に「道の駅むなかた買物券500円分」を進呈
■問い合わせ先 定住化推進室
☎(36) 1284

期限り 日々任用職員募集

- 市では、国の緊急雇用対策事業として職員を募集。書類と面接で決定。履歴書は返却不可。
\*以前、同事業で通算1年以上の期間雇用された人は不可
●業務内容 住民基本台帳法、戸籍法、印鑑登録に関する市民課事務
●応募要件 パソコン(ワード、エクセル)操作ができる人
●募集人数 2人
●雇用期間 4月1日

- (金)〜9月30日(金)
\*更新の場合あり
●勤務日時 月々金曜日(祝日を除く)の午前9時〜午後5時の範囲内週20時間未満
\*45分の休憩あり
●勤務場所 市民課
●賃金 時給850円(平成22年度実績)
●申込方法 3月14日(月)必着で、市販の履歴書(写真張り付け)に必要事項を記入して、市民課へ郵送(〒811-3492/住所不要)か持参して申し込む
■問い合わせ先 市民課
☎(36) 1126

道の駅むなかた 新規出品者募集

- 道の駅むなかたでは、農水産物と加工食品の午後からの出品者を募集します。
●出品資格 市内か福津市内にある事業所か在住する人
●受付期間 2月15日(火)〜同27日(日)
\*出品者は、資格審査委員会審査し決定
\*詳しくは同ホームページ http://michino@kinunakata.co.jp/ で確認を
■問い合わせ先 (株)まちづくり宗像 ☎(62) 2715



- 会、リズムミック教室 TNC西日本文化サークルバトントワラーズ、NPO法人コラボむなかた
■問い合わせ先 市民活動推進課文化・スポーツ推進係
☎(36) 1540
\*参加賞(粗品)あり
\*正助ふるさと村花見弁当(1000円)と特製弁当(500円)を販売(いずれも要予約)
●日時 3月20日(日)
▽受付 午前8時30分
▽開会式 同9時10分
▽出発 同9時30分
▽到着予定 午後0時30分
▽閉会式 同2時
\*各種賞品が当たる「お楽しみ抽選会」を開催
●集合場所 グローバルアリーナ
●コース グローバルアリーナ〜平山天満宮〜妙見の滝〜長宝寺〜八所宮ほか〜正助ふるさと村までの約12キロ
●定員 先着500人
●申込方法 3月8日(火)必着で、代表者の①住所②氏名③年齢④電話番号と、⑤参加人数⑥弁当の個数を明記して、正助ふるさと村へハガキ(〒811-4152/武丸199)か、ファックス 同(34) 4066か、同ホームページ http://www.syosukemura.com/ のいずれかで申し込む
●参加費 無料

国・県などから

- \*F.M福岡でも申込可
\*参加者にはF.M福岡から参加証を発送
■問い合わせ先 情報政策課広報係
☎(36) 1055
▽正助ふるさと村
☎(35) 1100

第5回県景観大会

- 県が、景観をテーマにまちづくり団体や市町村、大学と連携した取り組みの一環として開催。参加無料。
●日時 2月26日(土) 午前10時〜午後3時15分
●会場 九州国立博物館(太宰府市)
●主な内容
▽まちづくり活動の事例紹介
▽「県景観文化展」(県美しいまちづくり建築賞)の受賞者表彰式
▽受賞作品や県内のまちづくり団体の活動内容を紹介したパネル展示
\*同22日(火)から同博物館エントランスホールで受賞作品を展示
■問い合わせ先 県都市計画課都市政策係 ☎(092)6433
▽市都市計画課都市計画係 ☎(36) 1484

県身体障がい者 体育大会

- 日時 5月8日(日) 午前10時〜午後5時
●会場 博多の森陸上競技場(福岡市博多区)ほか
●競技種目 陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク
●対象 4月1日現在で16歳以上の身体障がい者
●参加費 無料

力強く響き渡る歌声に感動 130人が「第九」を大合唱



年末になると各地で歌われるベートーベンの交響曲「第九」。市内でも、「第九コンサートむなかた2010」が昨年12月25日、宗像ユリックスで開催されました。

このコンサートは、福岡教育大学出身で市内を中心に音楽活動を続けている木村厚太郎さん(29歳)らが企画し、同実行委員会委員長の近田千和子さんが協力して3年前に始めました。合唱のメンバーは一般公募で、老若男女を問わず「歌うことが魅力」と歌好きな人ばかり。今回のコンサートには、市内外から130人が参加。詰めかけた約800人に力強い歌声を披露し、感動を与えました。

観客を魅了した「第九コンサート」

小野嘉久さん(63歳・河東)と妻のみどりさん(50歳代)もそんな一組。家はもちろん、車の中でもCDを聴きながら練習するほどの熱の入れようです。「元々歌うことが好きで最初から参加しています。年末にステージで歌うことは、1年の締めくくりになり最高の気分です」。メンバーは、8月から12月までの第1・3日曜日(2時間)のほか、平日にも練習を実施して本番に挑みました。

コンサートでは、1部で「きよしこの夜」など5曲、2部で「第九」を合唱。アンコールでは、会場の人と一緒に「ふるさと」を合唱するなど、2時間に及ぶ素晴らしいコンサートになりました。指揮者を担当した木村さんは、「音楽を通して人と人をつなげるためにも、これからも続けていきたい」と思います。近田さんも、「歌うことは素晴らしいこと。市民のみなさんに広がりつつあることを実感できました。これからも頑張ります」と次回に向けて意欲的でした。(市民記者 深江憲一)

■問い合わせ先 市民活動推進課 ☎(36) 1540

第12回 むなかたこども芸術祭

- 市では、市内を拠点に活動する子ども文化芸術活動団体に、発表の場の提供と、文化芸術活動を次世代へつなげる子どもの育成を目的に芸術祭を開催します。
●日時 2月27日(日) 正午開場、午後0時30分開演
●場所 宗像ユリックス・ハーモニーホール
●入場料 高校生以上500円
\*中学生以下は無料
●参加団体(順不同) 赤間太鼓、宗像少年少女劇団、宗像市舞踊協

「むなかたウオーク2011」参加者募集

- 同実行委員会(市、吉武地区コミュニティ運営協議会、正助ふるさと村、グローバルアリーナ)ではF.M福岡と共催で、同局の西川さとりアナウンサー(写真右下)と一緒に吉武地区を歩くイベントを開催。参加無料。
\*小雨決行。開催の有無